

WISeNET

ネットワークビデオレコーダー

クイックガイド

XRN-1620B2/XRN-1620SB1/XRN-820S

CE

製品の主な機能

本製品はカメラの映像及び音声をハードディスクに録画及び再生できます。また、ネットワークを利用して映像及び音声を遠隔地からPCを通じてモニタリングできる環境を提供します。

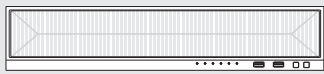
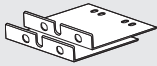
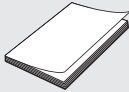
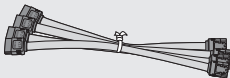
- 新型UI2.0提供
- インスタントビューア対応
- AIカメラ同期
- AI検索対応(人、顔、車両、ナンバープレート)
- ベストショット(Bestshot)表示対応
- ブックマーク機能
- サムネイル機能
- カメライベントリストをリアルタイム表示
- 便利なイベント規則設定
- 様々なシーケンス(レイアウト、ページ)機能
- 拡張された検索期間
- 便利なログ検索
- 熱画像カメラ / PTZ連動型カメラ対応
- 様々な4Kカメラ解像度対応
- HDMIを利用した4K高画質映像出力
- デュアルモニター出力対応(拡張、複製)
- 映像録画及び再生
- 音声録音及び再生
- ONVIF Profile S及び標準RTP/RTSPプロトコル対応
- HDD SMART機能を利用したハードディスク情報及び状態表示
- ハードディスク上書き機能
- USBメモリ及び外付けHDDを利用したエクスポート機能
- 8、16チャンネル同時再生
- 再生マルチチャンネルのタイムライン表示
- 様々な検索モード(時間、イベント、スマート、テキスト、エクスポート、ARB)
- ARB対応(チャンネル別の保存期間設定機能)
- 様々な保存モード(通常録画、イベント、予約録画)
- アラーム入/出力機能
- ウィンドウズのネットワークビューアを利用した遠隔地監視機能提供
- ネットワークカメラライブモニタリング対応
- インストールウィザード機能(本体、Web Viewer)
- P2P対応を通じたスマートフォン遠隔モニタリング利便性対応
- スマートフォンイベントのアラーム提供(リアルタイムイベントメッセージ送信)

構成品の確認

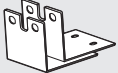
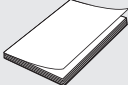


- 部品は写真と異なる場合があります。
- アクセサリーの種類及び数量は販売地域によって異なる場合があります。
- 一部地域の場合、HDDは事前に設置されておりません。HDD装着用のネジ、SATAケーブルの数はHDD固定数によって異なる場合があります。

XRN-1620SB1/XRN-1620B2

		
ストレージデバイス	マウス	電源コード
		
ブラケットラック	クイックガイド	ターミナルブロック
		
ハードディスク装着用のネジ (XRN-1620SB1: 16個 / XRN-1620B2: 32個)	ブラケット装着用のネジ(4個)	SATA電源ケーブル (XRN-1620SB1: 1個 / XRN-1620B2: 2個)
		
SATAケーブル (XRN-1620SB1: 4個 / XRN-1620B2: 8個)		

XRN-820S

		
ストレージデバイス	マウス	電源コード
		
ブラケットラック	クイックガイド	ターミナルブロック
		
ハードディスク装着用のネジ(8個)	ブラケット装着用のネジ(4個)	SATA電源ケーブル
		
SATAケーブル		

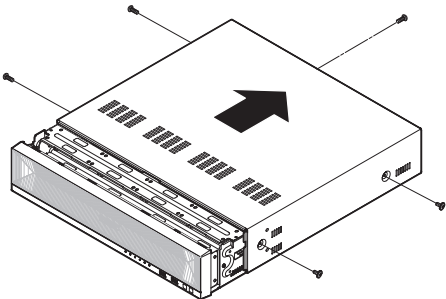
ハードディスクの装着

- ❗
- 初期インストール以外に新しく追加された新規ハードディスクや他の製品で使用していたハードディスクを本製品に装着する場合、セットで手動フォーマットした上でご使用ください。
 - ハードディスクの交換及び追加装着は製品の購入先またはサービスセンターでのみ可能です。

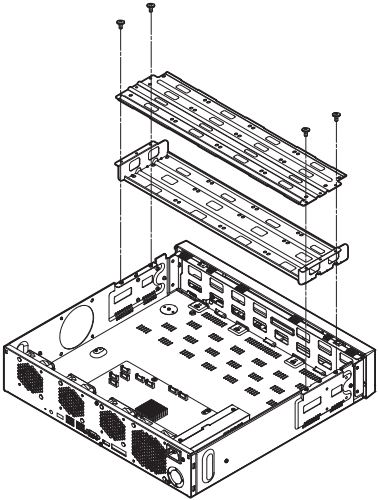
XRN-1620B2/XRN-1620SB1

- 📖
- 次の絵はXRN-1620B2モデル基準です。

1 左/右側面と裏側のネジを取り、カバーを後ろに押しながら取り外してください。

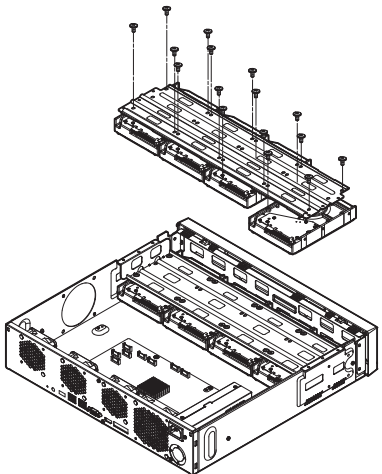


2 左/右側のネジを取り、ブラケットを取り外してください。

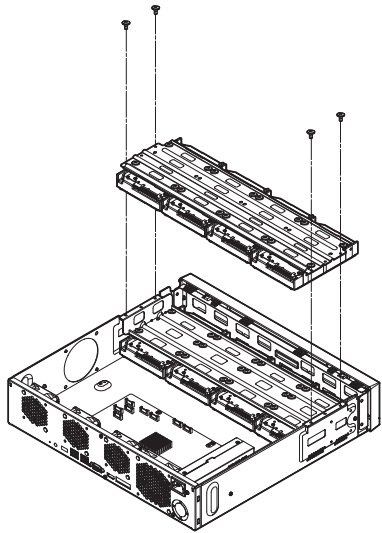


3 ブラケットにハードディスクを8個装着した後、ネジで固定してください。

- XRN-1620SB1モデルは下の方のブラケットにのみハードディスクを装着してください。

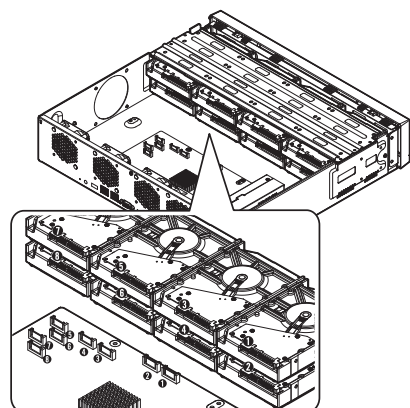


4 ハードディスクが装着されたブラケットを、ネジを使用してストレージデバイスに固定してください。



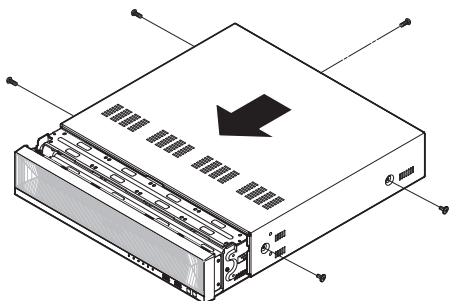
- 5** ハードディスクのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクターに接続してください。

- ハードディスクの位置番号とコネクター番号は下の絵をご参照ください。



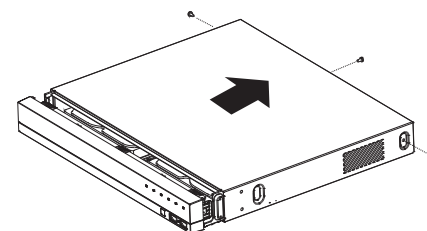
- 6** ストレージデバイス内部の接続端子と配線に問題がないか確認した後、カバーを取り付け、ネジで固定してください。

- カバーを取り付ける時は、ケーブルの損傷にご注意ください。



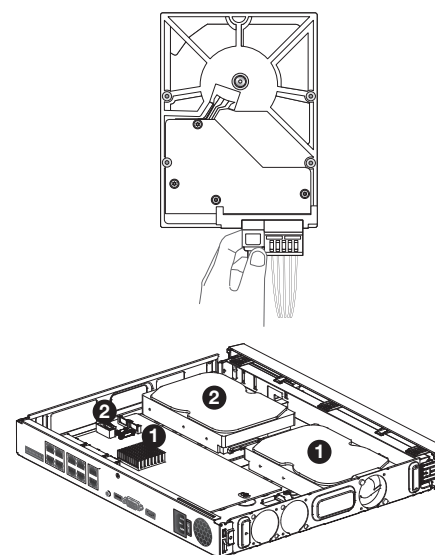
XRN-820S

- 1** 左/右側面と裏側のネジを取り、カバーを後ろに押しながら取り外してください。

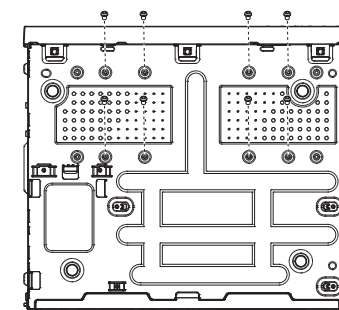


- 2** ハードディスクのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクターに接続してください。

- ハードディスクの位置番号とコネクター番号は下の絵をご参照ください。

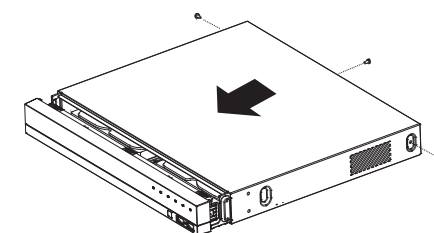


- 3** ネジを使用してハードディスクをストレージデバイスの裏面に固定してください。



- 4** ストレージデバイス内部の接続端子と配線に問題がないか確認した後、カバーを取り付け、ネジで固定してください。

- カバーを取り付ける時は、ケーブルの損傷にご注意ください。



- !** ■ メインボードのコネクターからケーブルを取り外す場合、無理に引っ張らないでください。

インストールウィザードの設定

次のように<インストールウィザード>を段階別に行います。インストールウィザードは出荷時の状態でのみ進入可能で、行いたくない場合には<終了>をクリックしてください。



- インストールウィザードはストレージデバイスとWeb Viewerで設定できます。Web Viewerでインストールウィザードを設定する方法は使用説明書をご参照ください。
- ストレージデバイスでインストールウィザードを完了すると、Web Viewerではインストールウィザードが表示されません。

1 言語設定

言語を選択してください。

英語

ネットワーク

ストーリーライン/レイアウト/ワード

ネットワーク/ワード

設定/機能

ネット/管理

ダウンロード/設定

製品で使用する言語を選択してください。

続けるには次へをクリックしてください。

☐ English
☐ Français
☐ Deutsch

☐ Español
☐ Italiano
☐ 中文

☐ Русский
☐ 한국어
☐ polski

☒ 日本語
☐ Nederlands
☐ Português

☐ Türkçe
☐ Čeština
☐ Dansk

☐ Svenska
☐ Jawa
☐ Română

☐ srpski
☐ hrvatski
☐ Magyar

☐ Ελληνικά
☐ suomi
☐ Norsk

☐ Tiếng Việt

2 ネットワーク設定

- DHCPサーバー: DHCPサーバーを実行に設定すると、カメラに自動的にIPが割り当てられます。
- ネットワーク1(カメラ): カメラとの接続のためのポートであり、カメラから映像を受信されます。
- ネットワーク2(すべて): リモートビューア(SSM、Smart Viewer、Webviewer)のためのポートです。
- ネットワーク1(カメラ) / ネットワーク2(すべて)設定
 - IPタイプ: ネットワーク接続タイプを選択します。
 - IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS
- カメラ登録方式: PoEに対応する製品にのみ提供する機能です。PoEに対応する製品は製品仕様説明書の「**機能別に対応する製品(4ページ)**」をご参照ください。
 - PnPモード有効: 製品のPoEポートに接続されたカメラがポート番号順にチャンネルに自動的に登録されます。
 - カメラが工場出荷時の状態の場合、<カメラID/パスワード>段階で設定したIDとパスワードに変更されます。
 - カメラのIDとパスワードが既に設定された場合、<カメラID/パスワード>段階で設定したIDとパスワードと一致する情報に登録されます。(最大3セット) カメラのIPが固定IPの場合、ネットワーク1のIPと同一帯域に設定されないと登録できません。
 - PnPモードを使用しないと、製品のPoEポートに接続されたカメラと別途スイッチに接続されたカメラを自動検索して登録します。
- オンラインアップグレード使用: デバイスがネットワークに接続されると新規ファームウェア通知を受けられます。

※詳細なネットワーク設定方法は製品使用説明書をご参照ください。

▶簡単なイントラネットを使用するには<次へ>をクリックしてください。

製品

カメラワーク2

ストレージデバイス32GB(15.6インチ)

カメラワーク15.6インチ

約1700時間

カメラ変換

ダウンロード

製品後面の接続ポートを確認した後、ストレージデバイスのネットワークを設定してください。
ネットワーク設定を初期値に設定するには次へをクリックしてください。

DHCPサーバー

・ ネットワーク1

☒ 実行

・ ネットワーク2

☐ 実行

DHCPサーバーを使用すると、カメラのIPアドレスが自動的に割り当てられます。

ネットワーク1 (カメラ)

設定

192.168.1.200

ネットワーク2 (すべて)

設定

172.30.1.200

すべてのネットワークポートが接続されました。

カメラ登録方式

☒ PnPモード有効

☒ オンラインアップグレード使用

戻る

次へ

3 ストレージデバイスID/パスワード設定

管理者のパスワードを設定します。

インストールウィザード

バックアップ/リカバリ/移行ツール

システムログ/サポート

目次/検索

カメラ監視

チャンネル設定

ID

admin(管理者)

初期パスワード

パスワードの確認

☐ パスワードの表示

ストレージデバイスのパスワードを設定してください。

●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●

戻る

完了

※ < **i** >をクリックするとパスワード設定のためのベーシックガイド文章が現れます。パスワード設定規則をご確認ください。

4 カメラID及びパスワード設定

- 4-1.** 工場出荷時の状態のカメラのパスワードを設定してください。カメラの初期パスワードは必ず入力しなければなりません。
- 4-2.** カメラにID/パスワードが既に設定された場合、該当のID/パスワードの登録後、**<次へ>**をクリックしてください。

インストールウィザード

カメラIDとパスワードの登録

カメラIDの検索

カメラID登録

パスワードの登録

初期パスワード

ストレージデバイス管理者IDとパスワードをカメラアカウントで使用

初期パスワード

パスワードの確認

☒ ストレージデバイス管理者IDとパスワードをカメラアカウントで使用

☐ パスワードの表示

パスワード設定済みのカメラIDとパスワード登録(最大3つ)

☐ カメラIDとパスワード入力

カメラID

パスワード

☐ パスワードの表示

※ < **i** > をクリックするとパスワード設定のためのベーシックガイド文章が現れます。パスワード設定規則をご確認ください。

※ カメラのパスワードが工場出荷時の状態の時は一括変更して管理できます。

※ パスワードが設定されたカメラIDとパスワード登録は最大3セットまで可能です。

※ 「設定＞カメラ＞カメラのパスワード」メニューから登録されているすべてのカメラのパスワードを一括で変更できます。

※ ONVIF及びRTSPで登録済みのカメラのパスワードは変更されません。

5 日付&時間設定

日付、時間、SUMMER TIMEの設定後、**<次へ>**をクリックしてください。

インストールウィザード

戻る

インストール

インストールが完了しましたのでインストール

インストールが完了しましたのでインストール

目的情報

ネットワーク設定

インストール先設定

製品のシステム時間を設定してください。

日付

2020-12-04

▼

YYYY-MM-DD

▼

時間

09:08:50

▼

24時間

▼

時間帯

GMT

▼

SUMMER TIME

☐

3月 最終週 (日) 1時

☺

10月 最終週 (日) 1時

☹

戻る

完了

6 カメラ登録

検索されたネットワークカメラを登録します。

6-1 検索されたカメラリストから登録するカメラを選択した後、**<登録>**をクリックしてください。

6-2 登録するカメラをリストから選択した後、**<IP変更>**をクリックしてください。

6-3 カメラ登録を完了した後、**<次へ>**をクリックしてください。

[illegible]

7 チャンネル設定

各チャンネルに登録済みのカメラの映像をサムネイル情報と共に分割モードでご確認できます。カメラの映像位置を変更する時には、分割モードを選択した後、望む位置にドラッグ&ドロップしてください。

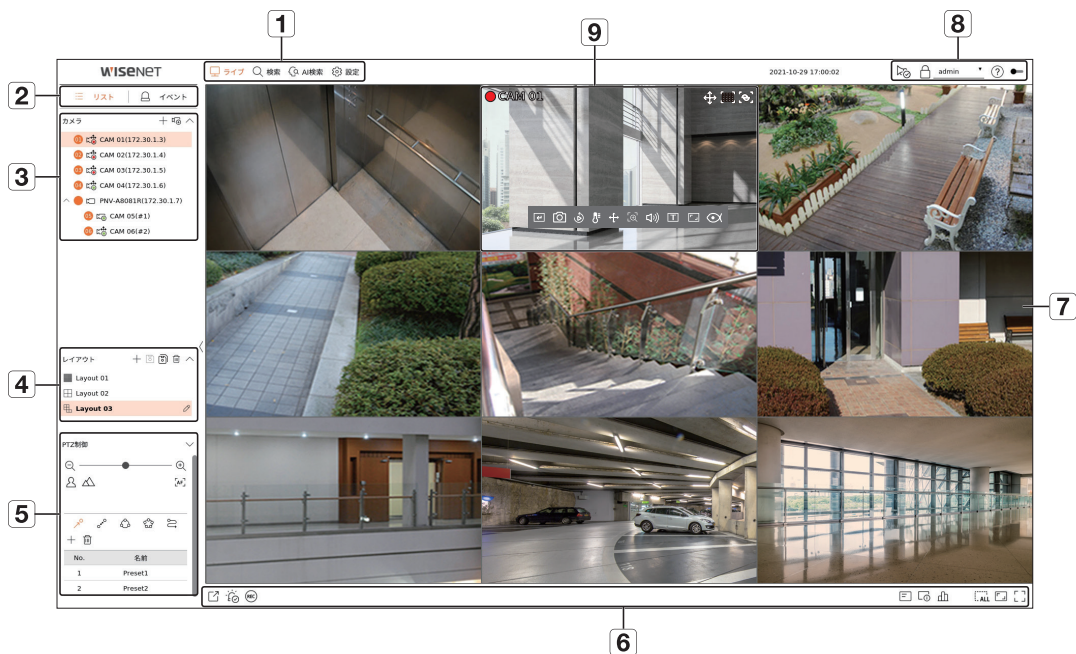
[illegible]

8 インストールウィザードを完了する時には<完了>をクリックしてください。

画面構成の詳細

ストレージデバイスの画面は次のように構成されています。

-  画面は使用者が選択したメニューによって構成が異なる場合があります。

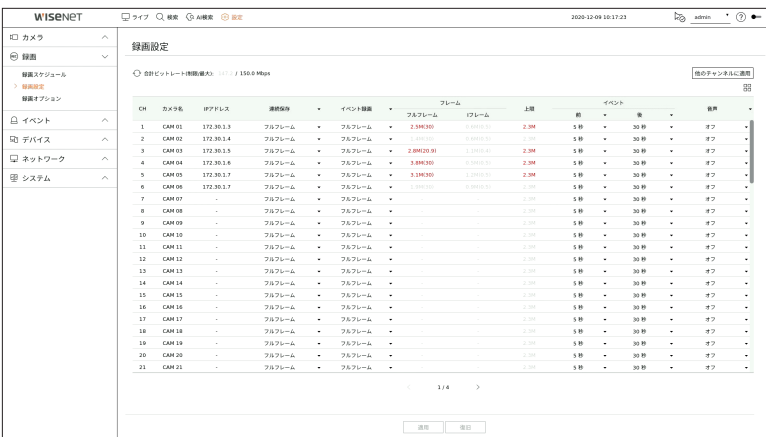


No.	画面構成	詳細機能説明
1	メニュー	各メニューをクリックするとメニュー画面に移動します。
2	リスト/イベント	カメラのリストまたはイベントリストを確認する時に選択します。
3	カメラリスト	≡リストをクリックするとストレージデバイスに登録済みのカメラリストを表示します。 また、カメラを手動か自動に登録できます。
	イベントリスト	≡イベントをクリックするとイベントリストが表示されます。
4	レイアウトリスト	ベーシックなレイアウトと作成したレイアウトリストが表示されます。 レイアウトリストのシーケンスを設定し再生できます。
5	PTZ制御	ストレージデバイスに接続されたPTZカメラを制御します。
6	機能ボタン	よく使ったり緊急に使われる機能です。 (エクスポート、アラームオフ、手動録画、OSD表示/非表示、チャンネル情報、状態、すべての映像除去、全体アスペクト比、全画面)
7	映像ウィンドウ	ストレージデバイスに接続されたカメラの映像を表示します。
8	システム状況表示及び付加機能	- システム、ハードディスク、ネットワークの状況を表示します。 - ストレージデバイスから映像を受信中のビューアの IPアドレスと相互承認状態を表示します。 - 接続された使用者のIDを表示します。 - 仕様説明書がダウンロードできるQRコードを表示します。 - 画面のカラーテーマを変更します。
9	イベント表示及び映像制御機能	デバイスから発生されたイベントを表示し、映像制御関連機能を表示します。

録画設定

チャンネル別にイベント発生時や通常録画時の解像度と録画の数を設定できます。チャンネル別に全フレーム録画/キーフレームのみ録画のフレーム数とデータ量が確認でき、使用者が直接許容データ量の入力ができます。

設定>保存 > 録画設定



Ch	カメラ名	解像度	フレーム種類	フレーム数	上限	前	後	録	録
1	CAM 01	172.30.3.3	フルフレーム	2,345,678	2,345,678	2,345	5秒	30秒	オフ
2	CAM 02	172.30.3.4	フルフレーム	2,345,678	2,345,678	2,345	5秒	30秒	オフ
3	CAM 03	172.30.3.5	フルフレーム	2,000,000	2,000,000	2,000	5秒	30秒	オフ
4	CAM 04	172.30.3.6	フルフレーム	3,000,000	3,000,000	3,000	5秒	30秒	オフ
5	CAM 05	172.30.3.7	フルフレーム	3,100,000	3,100,000	3,100	5秒	30秒	オフ
6	CAM 06	172.30.3.7	フルフレーム	2,345,678	2,345,678	2,345	5秒	30秒	オフ
7	CAM 07	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
8	CAM 08	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
9	CAM 09	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
10	CAM 10	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
11	CAM 11	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
12	CAM 12	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
13	CAM 13	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
14	CAM 14	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
15	CAM 15	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
16	CAM 16	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
17	CAM 17	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
18	CAM 18	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
19	CAM 19	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
20	CAM 20	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ
21	CAM 21	-	フルフレーム	-	-	-	5秒	30秒	オフ

- 他のチャンネルに適用：<他のチャンネルに適用>を選択すると“他のチャンネルに適用”のOKウィンドが現れます。該当設定値を適用したいチャンネルを選択し、<OK>をクリックすると設定された内容が選択されたチャンネルに適用されます。
- ：該当チャンネルのカメラをリストまたはサムネイルで表示します。
- カメラ名：カメラ名が表示されます。
- IPアドレス：カメラのIPアドレスが表示されます。
- 連続保存、イベント録画：連続録画またはイベント録画時の録画方法を設定します。
 - フルフレーム：カメラから転送されるすべてのフレームを保存します。
 - 1フレーム：カメラから転送される主要フレームのみ保存します。カメラの設定によって異なります。
 - オフ：録画をしません。
- フレーム
 - フルフレーム：全画面録画のデータ量を表示します。
 - 1フレーム：主要画面録画のデータ量を表示します。
- 上限：チャンネル別の入力許容データ量を設定します。
- イベント：イベントが発生する場合、イベント発生時のどの時点から録画をするか終了するかを設定できます。
 - 前：イベントが発生した場合、設定された時間より前から録画が開始されます。5秒に設定すると、イベント発生5秒前から録画が開始されます。
 - 後：イベントが発生した場合、設定された時間の後まで録画が実行されます。5秒に設定すると、イベント終了5秒後まで録画されます。
- 音声：カメラから入力される音響の録画可否を選択します。

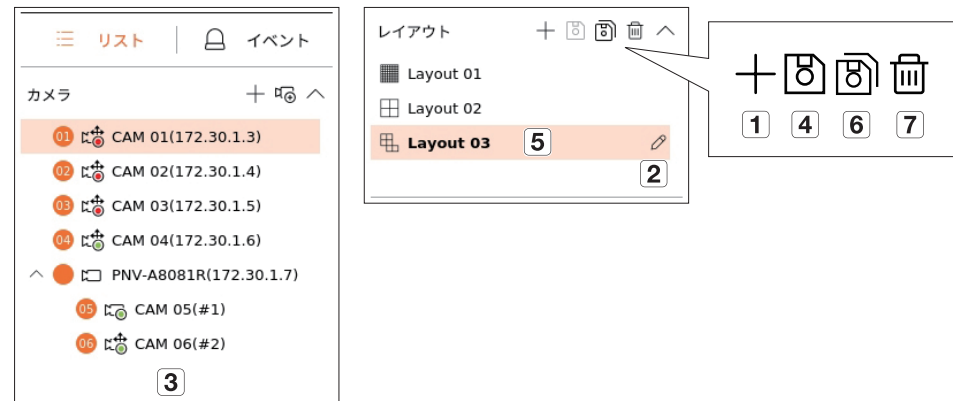
-  チャンネル別の入力データ量が設定された許容データ量を超えると、他の機能にも影響を与える可能性があるため、<フルフレーム>を選択しても一部チャンネルでは<1フレーム>のみ録画されます。主要画面のみ録画する場合、制限録画アイコンをライブ画面の上部に出力します。但し、現在の許容値の合計が最大値を超過しない場合には、チャンネルごとに許容ビットレートを超過たとしてもフルフレームを確認できます。
- 黄色で表示されるチャンネルは、カメラの録画データが入らない場合、一時的な録画のためにカメラの他のプロファイルに切り替えて録画することを示します。黄色で表示されたチャンネルの情報を見ると、現在適用中のプロファイルが分かります。オレンジ色に表示されるチャンネルは、カメラの録画データが許容データより多い場合です。こういう場合には、映像のフルフレームは確認できず、主要フレーム(1秒に1枚または2枚)のみ録画します。許容データを入力データより大きく設定すれば問題ありません。

レイアウト設定及び実行

ライブ画面で設定したレイアウトを時刻検索でも同じく使用しており、使用者が設定したチャンネル順とチャンネル組み合わせて検索して再生できます。

■ 各段階の詳細設定方法は**取扱説明書**をご参照ください。

1 ライブチャンネルのレイアウト設定



- レイアウトを追加します。
- レイアウトの名前を変更します。
- カメラリストからレイアウトに表示するチャンネルをクリックして選択してください。
- 設定したレイアウトを保存してください。
- レイアウトを選択すると、該当チャンネルグループにすぐに移動されます。
- レイアウトをコピーできます。リストの中から複製したいレイアウトを選択した後、レイアウトの名前を表示するチャンネルを変更してご使用ください。
- レイアウトを削除できます。

2 検索/再生



- 画面上部の<検索>をクリックしてください。
- <時刻検索>をクリックしてください。

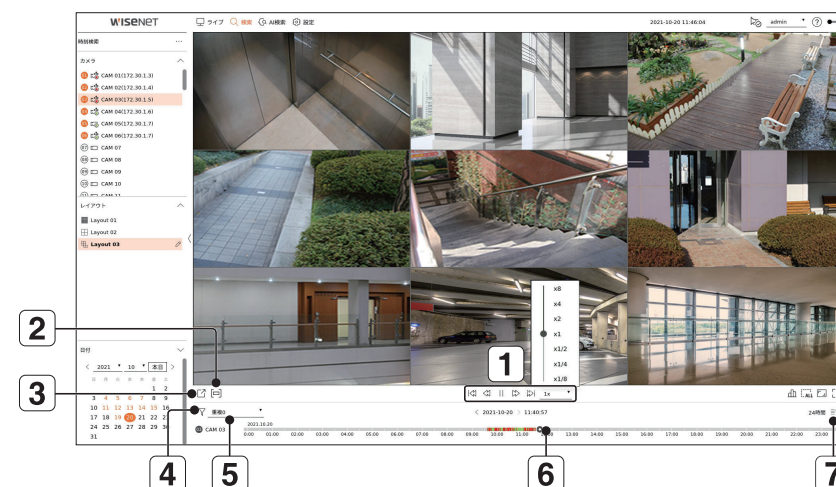
2-1 検索



- ライブで作成したチャンネルグループの中からレイアウトを選択してください。
- 検索する日付を選択してください。
- 選択したチャンネルグループからチャンネルを選択してください。
- タイムバーを動かすと③番の画面からプレビュー画面を確認できます。
- <▶>をクリックすると選択されたチャンネルが再生されます。

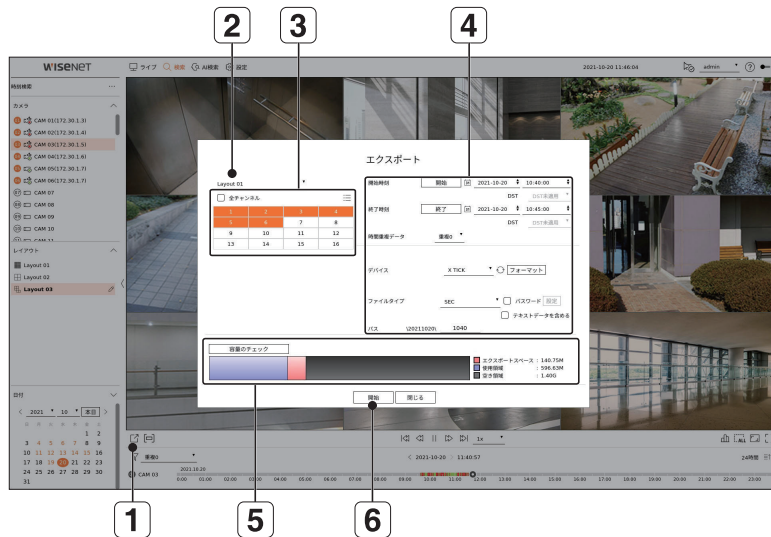
2-2 再生

再生が開始されると検索日や再生時間が表示され、再生速度を制御しながら録画された映像を検索できます。



- 再生速度を制御したり前または次のフレームに移動します。
- エクスポートセクション設定をオン/オフにします。エクスポートしたい開始と終了時刻を選択できます。
- レイアウトまたはチャンネル別に必要な時間帯の録画映像をエクスポートします。
- イベント項目をフィルタリングし、録画映像を検索します。
- 時間変更による重複区間を設定し、タイムラインを確認します。
- チャンネル別のタイムラインを表示します。
- 4チャンネルのタイムラインを開けたり閉めます。

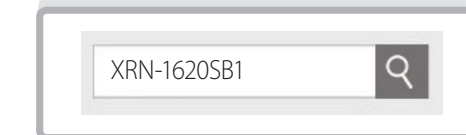
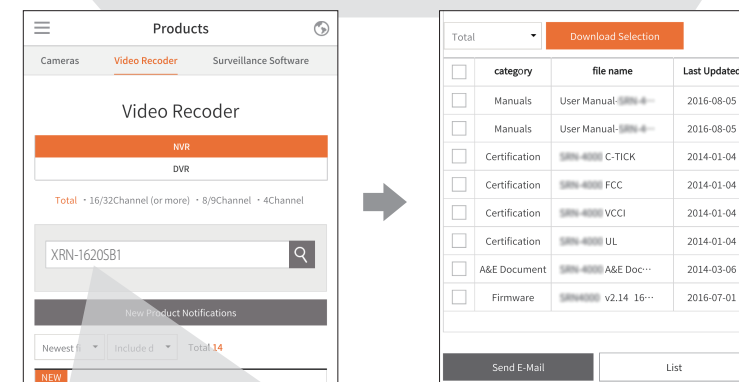
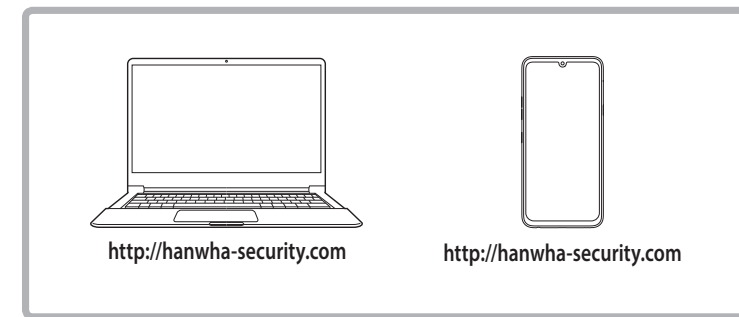
3 録画映像のエクスポート



- ① 画面下部の<[]>を選択してください。
- ② レイアウトを選択してください。
- ③ チャンネルを選択してください。
- ④ エクスポートする時間、デバイス、形式、経路を設定してください。
- ⑤ <容量のチェック>をクリックし、エクスポートの可能可否をご確認ください。
- ⑥ <開始>をクリックし、エクスポートを行ってください。

製品情報の活用

ホームページやスマートフォンのモバイルウェブを通じ、製品情報/マニュアル/ファームウェア情報/FAQ/ハードディスクの互換性リストなどを確認できます。

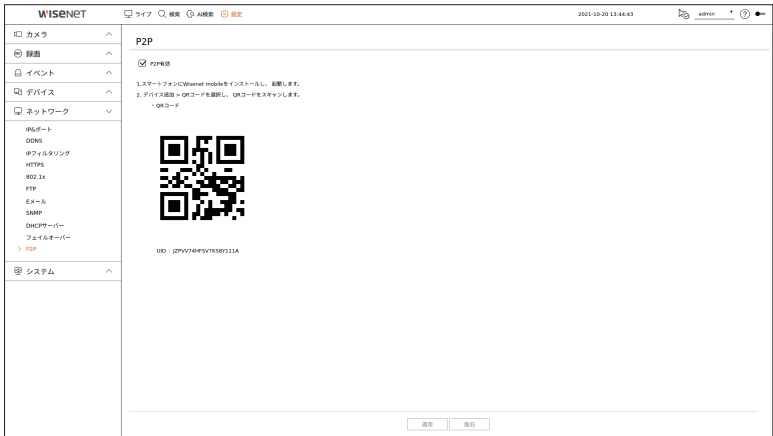


P2Pサービスの活用

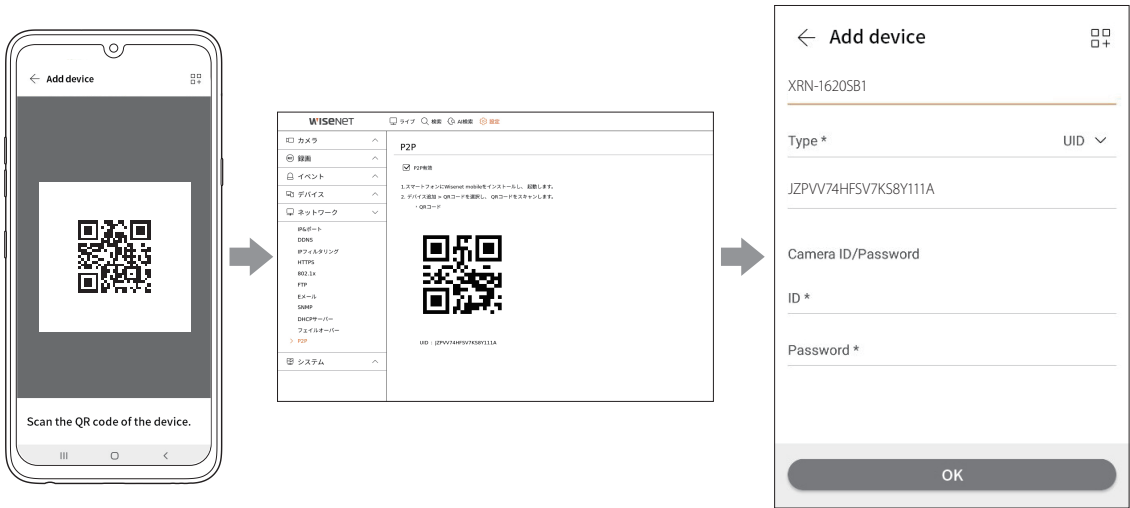
P2P機能に対応する製品にのみ提供する機能です。P2P機能に対応する製品は製品仕様説明書の「機能別に対応する製品(ページ)」をご参照ください。

P2Pサービスを使用する場合、簡単にWisnetモバイルに接続してご使用できます。

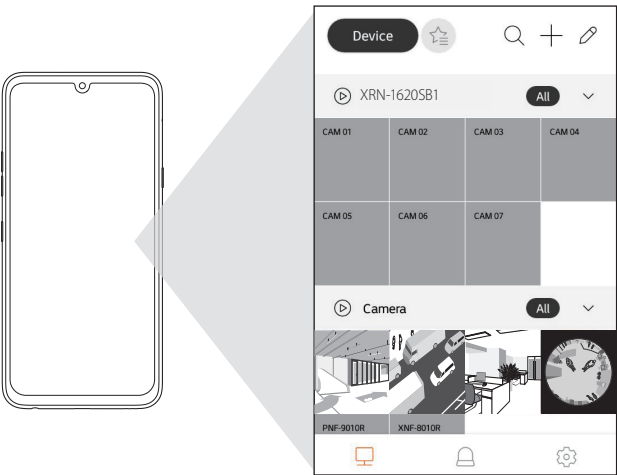
- 1
- <P2P有効>をチェックすると、現在該当ストレージデバイスから遠隔で接続が可能かどうか接続テストを行います。リストに製品が表示されます。



- 2
- 接続に成功するとスマートフォンでWisnet Mobileを検索し、インストール及び実行してください。
 - デバイス追加 > QRコードを選択するとストレージデバイスのQRコードをスキャンできます。
- 3
- QRコードをスキャンするとストレージデバイスから見られるデバイスUIDがモバイルビューアで自動的に反映され、ストレージデバイスのID/パスワードを入力すれば、すぐにモバイルビューアをご使用できます。



- 4
- 以後は、スマートフォンから保存したWisnet Mobileアプリを実行するとストレージデバイスに自動接続され、スマートフォンで簡単にモニタリングできます。



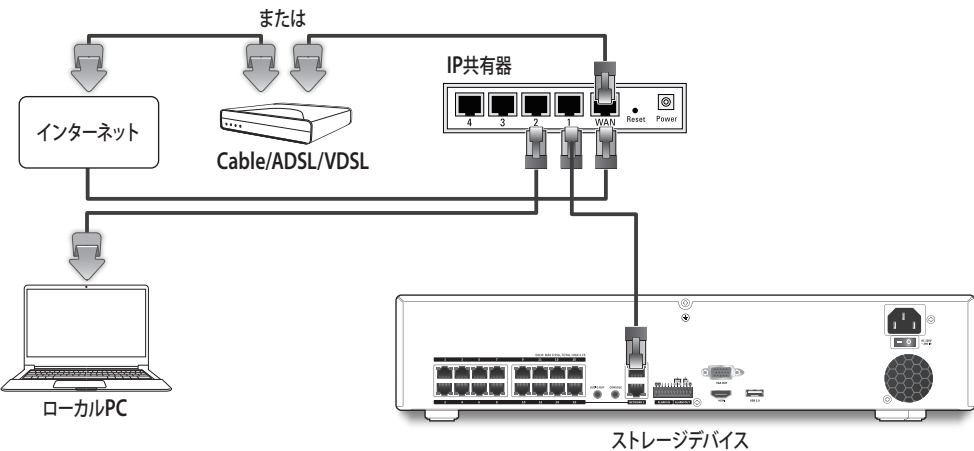
-
- P2Pサービスの有効期間は3年であり、以後延長して使用を希望する場合には営業店にお問い合わせください。

共有器を利用したネットワーク接続

xDSL/Cable Modemを使用する環境でPCとストレージデバイス1〜3台を追加して使用しようとする時、1つのインターネットラインだけでは共有器を利用してご使用できます。

このガイドは、ネットワーク非専門家のためのインストールガイドです。説明に従って共有器、ローカルPC、ストレージデバイスを設定してください。

ケーブルの接続



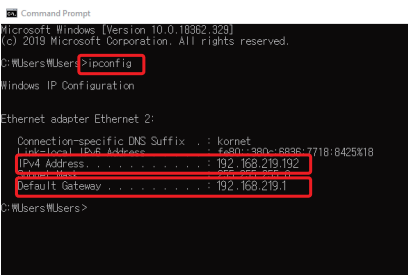
PCと共有器の接続

■ 共有器の使用説明書をご参照ください。

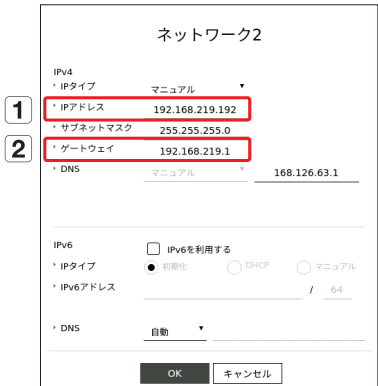
ストレージデバイスと共有器の接続

ストレージデバイスの<ネットワーク>設定メニューの<IP&ポート>に移動後、<設定>項目で①<IPアドレス>と②<ゲートウェイ>を設定してください。

- ※ ローカルPCの[cmd.exe]ウィンドウから確認した<デフォルトゲートウェイ>とストレージデバイスの<ゲートウェイ>を同一に設定しなければなりません。
- ※ ストレージデバイスの<IPアドレス>はローカルPCの[cmd.exe]ウィンドウで確認した<デフォルトゲートウェイ>と3桁目の番号まで同一に設定しなければなりません。



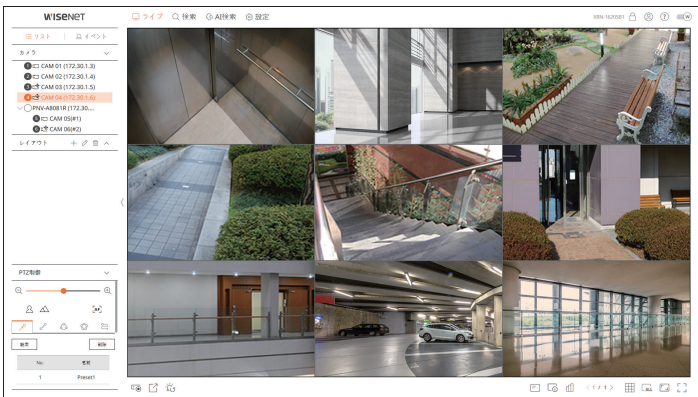
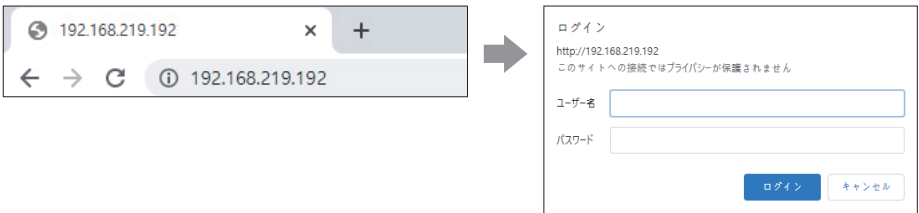
<cmd画面>



<ストレージデバイス画面例>

PCからストレージデバイス接続の確認

ローカルPCのアドレスバーにストレージデバイスのメニューで設定したIPを入力してください。使用者名とパスワードを入力してログインするとストレージデバイスのWeb Viewer画面が表示されます。



システム要求事項

Web Viewerを実行するための最小限のハードウェアとオペレーティングシステムの要求事項は次の通りです。

- ブラウザはOSが推奨するブラウザをご使用ください。
例示) Microsoftの推奨ブラウザ: Microsoft Edge
- 対応ブラウザ: Chrome, Edge, Safari
- 対応OS: Platform 独立的なウェブの特性上Windows、Linux、OS X環境ですべて動作します。
- 検証環境: Windows® 10のEdge 83、Google Chrome™ 83、NVIDIA® GeForce® GTX™ 1050が含まれたIntel® Core™ i7-7700プロセッサ3.60GhzまたはIntel™ HD Graphics 630でテスト及び検証されました。
- 機能制約事項: Webビューアの映像再生性能は使用者のCPU/GPUの機能に影響を受けることがあります。ChromeでH.265ビデオの再生する際、高い解像度や転送帯域幅などの設定により映像の品質が低下することがあります。

共有器とインターネット接続設定

各共有器によってインターネット接続の設定方法が異なるので、各共有器に合う設定方法をご確認ください。

共有器でポートフォワーディング設定

外部から共有器のローカルLANが接続されたPCやストレージデバイスに接続するためには共有器のポートフォワーディングを設定してください。

ストレージデバイスでは、<RTSPポート>、<HTTPポート>、<HTTPSポート>、CAMプロキシポートを使用します。使用するすべてのポートのポートフォワーディングを設定しなければなりません。

- ※ <HTTPポート>のみ、ポートフォワーディング設定した場合、映像転送ポートである<RTSPポート>がポートフォワーディングされてないため、接続はできるものの映像は出力されません。
- ※ <RTSPポート>のみ、ポートフォワーディング設定した場合、ウェブ接続ポートである<HTTPポート>がポートフォワーディングされてないため、接続できません。
- ※ 共有器の使用説明書をご参照ください。

動的IP環境でDDNSドメインを利用しての接続

xDSL/Cableモデムのような動的IP環境では、共有器のWAN IPが変更される可能性があるため、当社ではDDNS(Dynamic Domain Name Server)サービスを提供し、動的IP環境でも常にDDNSドメインだけでもストレージデバイスに接続できます。

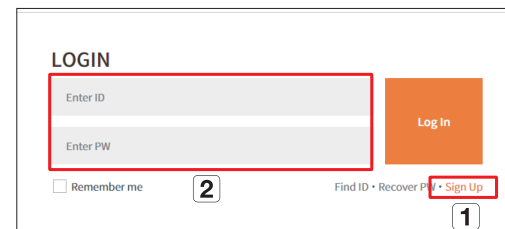
Wisenet DDNS設定

ストレージデバイスに遠隔で接続することになるため、まずはPCを利用してWisenet DDNSのアカウントを設定してください。

- 1 ブラウザを開いてddns.hanwha-security.comに接続後、<ログイン>をクリックしてください。

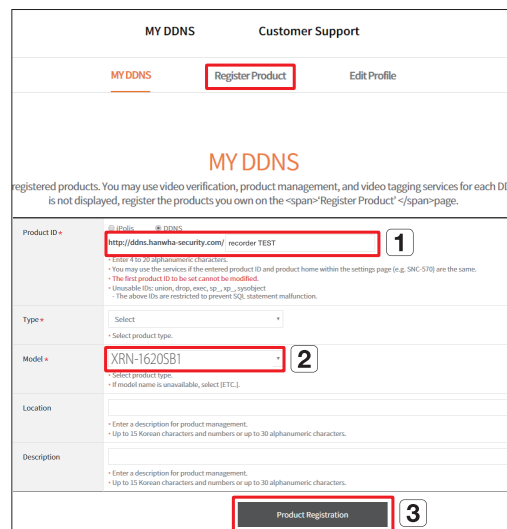


- 2 <会員登録>をクリックしてください。



- 1 ウェブサイトのアカウント登録指示に従ってください。
- 2 アカウント登録の完了後、ログインしてください。

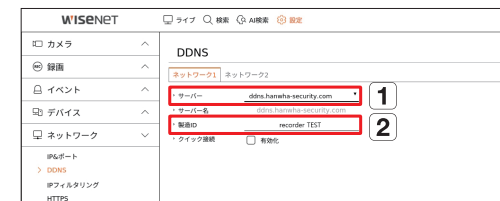
- 3 <製品登録>タブをクリックし、使用者アカウントにストレージデバイスを追加してください。



- 1 ストレージデバイスに対する名称(製品のID)を作成してください。
- 2 ストレージデバイスの区分、モデル名を選択してください。
- 3 <製品登録>をクリックしてください。

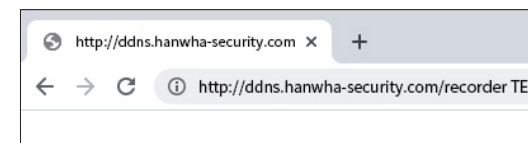
DDNSドメインを利用しての接続

- 1 ストレージデバイスの設定メニューからDDNSサイトを選択し、製品IDを入力してください。

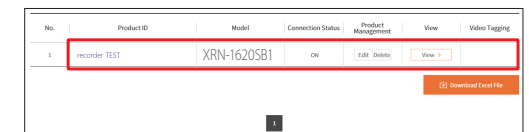


- 1 <ネットワーク>メニューの<サーバー>から<ddns.hanwha-security.com>を選択してください。
- 2 <製造ID>にWisenet DDNSウェブサイトから作成した製品のIDを入力してください。
- 3 DDNS設定完了後、<適用>を選択してください。

- 3 ローカルPCのアドレスバーから、ストレージデバイスで設定したDDNSホストアドレスであるhttp://ddns.hanwha-security.com/recorder TESTに接続すれば、ストレージデバイスに接続できます。または、2番項目の<View>をクリックすると、ストレージデバイスに接続できます。

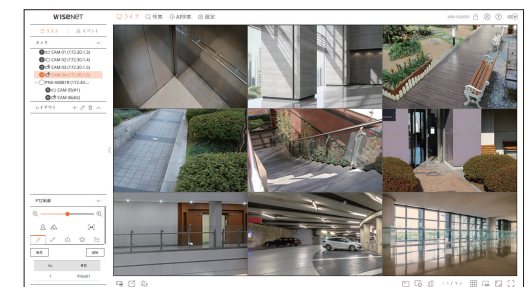


- 2 ddns.hanwha-security.comに接続し、登録した製品の接続状態が<ON>になっているかを確認ください。



<Wisenet DDNSの設定画面>

- 4 ストレージデバイスのWeb Viewer画面が表示されます。



設定がすべて完了されました。

DDNSソメインとID/パスワードを覚えていれば、インターネットが接続されたすべてのPCからストレージデバイスに接続できます。

以降の使用方法は使用説明書をご参照ください。



Hanwha Techwinでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Techwinの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

